

日本林政ジャーナリストの会 2024年新春特別研究会
「森林医学の現状と展望」～私が森林から学んだこと～

登山家・医師 今井通子氏

日時:令和6年1月24日(水) 15:00~17:00

場所:日本記者クラブ(東京都千代田区内幸町 2-1-1(日本プレスセンタービル内))

森林など植物由来の刺激がもたらす生理的・非特異的効果は古くから指摘されてきた。「森林医学」はこのことを科学的根拠に基づいて解明する「学問体系」である。先行する概念として「森林浴」という言葉が、秋山元長官によって提起され、1982年7月に新聞紙上において「森林浴構想」が公表されると大きな話題となった。「人間と森林等の自然環境との間における同調(シンクロ状態)による快適性増進効果を目指す行為」は、「森林セラピー」と呼ばれ、「科学的エビデンスに裏付けられた森林浴効果」が研究されてきた。植物由来の刺激が生理的リラックス状態をもたらすことにより、免疫機能が向上するという予防医学的効果が注目視される。日本の林業のニュービジネスを開発し、山村・中山間地の振興に寄与することも期待される。

今井通子氏は、森林医学の国際的な普及に向けて、学会の代表者として若手研究者の意欲を刺激し続ける第一人者。これまでの研究成果と今後の普及に向けての課題、行政との連携、ジャーナリズムの役割についてお話をうかがう。

参加希望の方は、氏名、所属及び連絡先をご記入のうえで、令和6年1月17日までに日本林政ジャーナリストの会幹事・事務局長の上河潔(k.kamikawa@live.jp)へお申し込みください。定員:25名(先着順)



講師略歴: 今井通子(いまいみちこ)さん

東京女子医科大学医学部卒。女性の登山家として初めてアルプス三大北壁(マッターホルン、アイガー、グランド・ジョラス)の登攀に成功。International Society of Nature and Forest Medicine (INFOM) を設立し、森林の持つ生理学的効果の検証を推進。2013 年文部科学省社会教育功労者。2020 年環境省「みどりの日」自然環境功労者大臣表彰。2023 年名誉都民。